

特集 水道給水開始百周年

現在、わたしたちの家庭では蛇口をひねれば水がでます。当然のように使用している水は、貯水池や河川の水を浄水場できれいにした後水道管を通り、ようやく各家庭で使用することができます。今回の特集では、水道給水開始にかかわる歴史を振り返り、皆さんと一緒に、水の大切さを考えてみたいと思います。



佐世保鎮守府水道制水弁

岡本貯水池や山の田浄水場などの施設には、旧海軍の文字等が入った「制水弁」などが散見され、旧海軍により建設されたことを垣間見ることができます。

佐世保の水道の始まり (明治中後期)

旧海軍用水道施設の整備

本市は明治十二(一八七九)年、郡区制定により長崎県東彼杵郡に編入され、当時は、人口二千六百人程度の小さな村でしたが、同二十二年、旧海軍鎮守府が開庁されると、軍港の基盤整備とともに、旧海軍による水道施設の急速な整備も始まりまし

た。
同年、弓張岳の炭鉱の湧き水(福田町郭公藪)を利用した矢岳貯水所(今福町)が造られ、日本で二番目に古い近代水道施設(最古のものは同二十年完成の横浜市水道)が完成し、同三十三年五月には、佐世保で最初のダムである岡本貯水池(十文野町)が完成するなど次々と旧海軍用水道施設が整備されました。



矢岳貯水所



郭公藪水源

～岡本貯水池と減圧井～

旧海軍は水不足解消のため、十文野町にあった農業用のため池を改造して岡本貯水池を造り、さらに、当時はまだ、ろ過されていない水を給水していたので、旧海軍鎮守府近くに矢岳浄水場を建設することにしました。

しかし、同貯水池と同浄水場との高低差は146mもあり、そのまま水を送った場合、強い水圧がかかり水道管が破裂してしまうため、同貯水池近くの野中町と同貯水池と同浄水場の間にある堺木峠(瀬戸越町)に水圧を下げる「減圧井」を建設し、水圧を調整して送水しました。現在でも、同貯水池と野中減圧井は使用されています。



岡本貯水池(第2貯水池)



堺木減圧井

市水道創始期(明治後期)～大正

市水道管による給水開始

明治三十五年四月に市制が施行され、佐世保は村から市へと飛躍的な発展を遂げましたが、市民の生活では、井戸や川の水を飲料水として使用していたため、衛生状態が非常に悪く、伝染病が毎年のように流行し、水道の普及が大きな課題でした。しかし、当時の市の財政事情では、水道施設の整備は難しく、旧海軍から浄水(※1)を一部分けてもらうしか方法はありませんでした。
そのころ、旧海軍は山の田ダム・浄水場(桜木町)の建設など水道拡張に取り組み、市は水道の普及を図るため同三十八年に水道課を新設し、旧海軍からさらに浄水分与の許可が得られたため、同三十九年に最初の水道管敷設工事に着手、同四十年九



市最初の水道管敷設工事

月に全国でも十番目の早さで、市民待望の水道管による給水を開始しました。これが、市による近代水道の始まりです。
大正十二(一九二三)年、旧海軍は転石ダム(柚木町)建設に着手(昭和二年完成)しましたが、市に對して浄水から原水(※2)の分与に切り替えると通達したため、市は同十五年三月、旧海軍からの原水を浄水にする山の田第二浄水場を市最初の浄水場として完成させました。

～近代水道の父・吉村長策～



山の田ダム・浄水場や市水道の完成により、市民は安全な水を手軽に利用できるようになりましたが、このとき施設の設計を行ったのが、海軍技師・吉村長策でした。

吉村長策は、万延元(1860)年に大阪で生まれ、工部大学校(現東京大学)で土木技術を学んだ後、長崎県からの要請で長崎市水道の工事を行うことになり、水道先駆者としての第一歩を踏み出します。

その後、大阪市、広島市、神戸市など次々と水道建設に携わり、明治32(1899)年12月に佐世保海軍經理部建築科へ赴任し、佐世保の水道創設を担うこととなります。

着任後すぐに、海軍の水道整備に着手し、山の田ダムなどを完成させ、さらに市水道の基本計画を策定し、市はこの基本計画を基に水道管の敷設工事をを行い、同40年、給水を開始しました。

これらの水道施設は、完成後100年たった現在でも市水道の主要な施設として使い続けられており、その設計・施工の優秀さを物語っています。

同44年に佐世保を離任した後も、西日本を中心に各地の水道建設に携わり、近代日本における「水道の父」として名をはせることとなります。

山の田ダム・浄水場

明治・大正期の施設が現役で使用されていて、2004年には土木学会選奨土木遺産に認定されました。

ダム(明治41年完成)



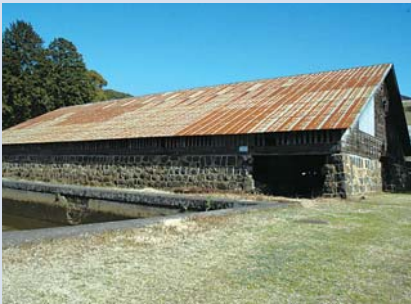
土を台形に盛り上げて造ったダム(アースダム)

浄水場・第1ろ過池(明治41年完成)



砂や砂利を使用して水を浄化する施設(緩速ろ過池)

浄水場・ろ砂倉庫(明治41年完成)



ろ過池用の砂倉庫

第2浄水場・第2配水池(大正15年完成)



各家庭に水を送る施設

※1 ろ過・消毒された水 ※2 浄水される前の水